

事業評価シート

番号 0660020 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜城運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和31年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜城条例	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市を代表する観光施設の一つであり、令和元年度の入場者数は25万人を超えている。住民の福祉を図り、郷土の史跡の保存および周辺の観光施設への誘客のため、施設の運営管理を行う。				
事業の内容	岐阜城の運営、施設内外の保全、施設及び設備の保守管理。				
事業の対象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客、市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	330,000人			
令和元年度 (実施内容)	大河ドラマの放映に合わせ観光客を呼び込むため、令和元年12月に信長公の想いにフォーカスした展示にリニューアルした。また、来場者の安全確保のため、仮補強工事を行ったため10月、12月に無料化、11月に臨時休館した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,043	96	3,043	96	3,264	96
嘱託職員	3,224	313	3,224	313	3,266	314
アルバイト	0		0		0	
計(A)	6,267	409	6,267	409	6,530	410

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		95,273	47,577	59,820
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	35,193	40,389	41,647
	工事請負費	49,999	0	7,642
	修繕費	1,782	1,858	2,981
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		1,979	1,979	1,979
計(D)=B+C		97,252	49,556	61,799

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	103,519	55,823	68,329

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	24,500	0	0
県支出金	0	0	0
市債	25,300	0	0
使用料・手数料	49,242	43,465	46,496
その他	2,309	2,167	2,207
計(F)	101,351	45,632	48,703

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,168	10,191	19,626

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	266,716	234,933	251,485
受益者負担額(千円)	49,235	43,362	46,490
受益者負担率(%)	47.6%	77.7%	68.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	8	43	78

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	365	365	366
実績値	365	365	360

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	230,000	230,000	260,000
実績値	266,716	234,933	251,485

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市を代表する観光施設の一つであり、ここ数年毎年20万人以上の入場者があるためニーズに合っている。 市が国有林野の貸付を受けており、城郭・資料館・沿路を含めた山頂部の包括的な管理が必要となる。林野庁や文化庁など他官庁との調整も多いため、市が直営で管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設単体での費用対効果は高くないが、周辺にある観光施設への間接的な経済効果が高い施設である。 市が主体的に運営管理しているが、日常の維持管理業務については民間を活用しており、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	展示リニューアルの関係で6日間臨時休館があり、10～12月にかけて入場料を無料とする期間があったが、前年度を上回る入場者数を得られており、今後も継続的に効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	現在は施設の老朽化等の要因もあり受益者負担は適正と考えられるが、施設の改修等を実施した際には、受益者負担の増額を検討する必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運営等に関しては問題ないが、老朽化に伴い、施設の耐震化と周辺設備の改修が必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 002

【1.基本情報】

事業名	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	T・H・Bファシリティズ	
実施期間	平成19年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化産業交流センター条例	

【2.事業概要】

事業の目的	地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。				
事業の内容	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、自主事業の実施。				
事業の対象	何を	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の施設等			
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	100,000人			
令和元年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。岐阜観光コンベンション協会やコンベンション企業などと連携し、イベント・コンベンションを誘致するとともに、JR岐阜駅前の賑わいを創出するために自主事業を4事業実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,522	48	1,522	48	1,632	48
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,522	48	1,522	48	1,632	48

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		39,394	55,463	81,727
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	25,000	25,000	26,158
	工事請負費	7,938	29,378	52,228
	備品購入費	6,456	1,085	2,956
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		7,429	7,429	7,429
計(D)=B+C		46,823	62,892	89,156

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	48,345	64,414	90,788

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	3,683	3,683	3,711
その他	14,471	13,561	13,363
計(F)	18,154	17,244	17,074

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	30,191	47,170	73,714

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	181,419	158,738	160,988
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	166	297	458

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	359	359	360
実績値	359	359	360

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	千人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	100	100	100
実績値	181	158	160

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜駅前に位置しており、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図ることができる中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	高い収益性のある施設である。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	成果指標である利用者数については目標値を大幅に上回っており、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜市のコンベンション及び文化産業の推進に役立つとともに、利用料金収入、利用者数も好調であり、引き続き現状の運営管理をしていくことが妥当であると考えられる。

事業評価シート

番号 0660020 - 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体 (公財)岐阜観光コンベンション協会
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市におけるコンベンション及び観光客の誘致。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション振興事業(国内外コンベンション主催者への誘致活動、コンベンション支援事業など) ・環境基盤整備事業(ホスピタリティ講座・観光セミナー・MICEセミナーの開催など) ・観光振興事業(国内外観光客の誘致、観光パンフレットの作成、各種キャンペーンの実施など) ・鵜飼観覧船支援事業(おまかせバック、風流屋形船の実施) 	
事業の対象	何を	本市の観光情報及びコンベンション関連情報
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及びコンベンション主催者となりうるすべての人々
	どのくらい (具体的 数値で)	定期的なコンベンション主催者に対する誘致活動 6件、国内観光客誘致31件、海外旅行者誘致12件など
令和元年度 (実施内容)	①コンベンション振興事業、②コンベンション支援事業、③環境基盤整備事業、④観光振興事業、⑤鵜飼観覧船支援事業	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		57,334	56,214	56,744
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	57,334	56,214	56,744
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		57,334	56,214	56,744

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	57,366	56,246	56,778

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	57,366	56,246	56,778

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	8,164,027	7,690,260	7,742,155
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7	7	7

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公益目的事業 コンベンション開催助成	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	9,711	10,705	7,033

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内コンベンション開催件数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300	300	300
実績値	274	278	275

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	本市において観光・コンベンション振興は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的からも市も担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により、約800万人の入込客数を記録し、200件以上のコンベンション誘致につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	協会の事業運営により、多くのコンベンション開催実績が得られたほか、観光客誘致につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市への観光客・コンベンション誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべき。

事業評価シート

番号 0660020 - 004

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体 GIFUナイトビュー事業実行委員会
実施期間	平成16年度～	年度	根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与すること		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜城パノラマ夜景(岐阜城) ・手力の火祭・夏(長良川公園) 		
事業の対象	何を	各種イベント	
	誰に (対象者・対象者数)	市民・観光客	
	どのくらい (具体的 数値で)	延べ70日間程度	
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜城パノラマ夜景(岐阜城) 計79日間(うち荒天により3日間中止) ・手力の火祭・夏(長良川公園) 令和元年8月11日(日) 		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,329	105	3,329	105	3,570	105
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,329	105	3,329	105	3,570	105

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		17,373	17,702	17,620
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	16,000	16,000	16,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		17,373	17,702	17,620

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	20,702	21,031	21,190

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	20,702	21,031	21,190

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	31,643	16,394	35,082
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	654	1,283	604

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント開催数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	70	70	70
実績値	74	76	77

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	イベント参加者数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	50,000	50,000	50,000
実績値	31,643	16,394	35,082

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>岐阜城パノラマ夜景は平成13年から開始し、例年1万人以上の来場者があり、岐阜市の夜の観光スポットとして定着している。手力の火祭・夏も、平成元年から開始し、平成30年で30周年を迎え、夏の風物詩として知名度も高まっている。</p> <p>市の新たな観光資源の創出、岐阜城なども含めた観光資源への観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	<p>「手力の火祭・夏」については、1日のみのイベントで、アウトカム(イベント来場者数)のうち25,000人、約70%を占めており、また予算の大部分(約1,400万 約80%)を使っている現状がある。</p> <p>現在も実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜城パノラマ夜景は、各メディアに紹介されており、岐阜市のイベントとして定着しており、毎年一定の観光客が訪れている。 ・手力の火祭・夏は、4月に手力雄神社で行われている本祭は神事であり、観光目的ではないため、夏に再演することで火祭そのもののPRと岐阜市への誘客を図れるイベントである。 ・手力の火祭・夏は鶺鴒や他の花火大会と重なるシーズンに実施しているため、他コンテンツと重ならない時期に実施することにより年間の観光客を増加させること等の検討の余地がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜城パノラマ夜景において、ロープウェーは営業努力で割引運賃としているが、岐阜城は入館料を徴収しており、受益者負担の面で公平性は確保できている。 ・手力の火祭・夏は本祭が無料であるのにならって観覧無料としている。屋外オープンスペースで実施するため、観覧料の徴収は実質不可能である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	<p>岐阜城パノラマ夜景、手力の火祭・夏ともに、岐阜市ならではのイベントとして継続していくべきと考えるが、鶺鴒や他観光コンテンツとの状況を加味し、実施期間の変更を検討していく必要がある。</p>

事業評価シート

番号 0660020 - 005

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか博士育成事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	市民・事業者・行政の3者が協働で観光を中心としてまちなかの活性化を図る	
事業の内容	岐阜市まちなか博士認定試験 ※平成29年度については信長公450プロジェクトを記念し、「信長検定」を実施 岐阜市まちなか案内人説明会の開催	
事業の対象	何を	岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光事業従事者(受験申込者数 概ね300人)
	どのくらい (具体的 数値で)	認定試験の実施(年1回)
令和元年度 (実施内容)	岐阜市まちなか博士初級・上級認定試験(12月21日)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	951	30	951	30	1,020	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	1,611	696	203
	委員報酬	146	182	182
	会場使用料	207	93	92
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		3,220	1,215	525

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	4,171	2,166	1,545

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	4,171	2,166	1,545

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	信長検定申込者数	岐阜市まちなか博士認定試験申込者数	岐阜市まちなか博士認定試験申込者数
受益者数	1,110	254	187
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,758	8,528	8,262

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜市まちなか博士認定試験の開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	1	1
実績値	-	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市まちなか博士認定試験の受験者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	210	210
実績値	-	205	143

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	観光事業者の新規採用者など毎年200名近い申込者数があり、本市のホスピタリティ向上を図るニーズに合っている。 岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得を目的とするため、国や県での実施は難しい。また営利目的では受験者数が減少する恐れがあり、民間事業者が主催での実施は難しい。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で実施している中で、受験申込者が観光事業従事者など200名近くあることから、費用対効果は高い。 専門的知識や市民目線を持つ有識者の協力のもと、必要最低限の予算内で実施している。民間活用することにより、予算増に繋がる恐れがある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	事業を実施することで、本市の魅力を説明できる人材が育成される。また、観光事業(宿泊施設、観光施設等)の従事者が受験することで、得た知識が観光客へ発信されるなど、本市の観光PRに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者負担がないことで、受験に係る制限は少なく、申込者数が確保できるメリットがある反面、未受験者が発生しやすいというデメリットがある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	これまで、のべ4,800人と多くの方が受験し、合格者がまちなか案内人になるなど、まちなか歩き・まちなか観光の推進や市民の知識向上にも大いに貢献している。

事業評価シート

番号 0660020 - 006

【1.基本情報】

事業名	笑いと感動のまちづくり事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会
実施期間	平成15年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの岐阜市を拠点に、日本一元気な県都・岐阜市の実現を目指す。町の活性化及び人の健康のため「笑いと感動」を切り口として、まちづくりの観点からも本事業を推進する。				
事業の内容	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③普及啓発事業 等				
事業の対象	何を	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③普及啓発事業			
	誰に (対象者・対象者数)	①落語関係者約300人、観客約1,400人 ②観客約1,500人 ③小学6年生冊子配布約3,800人			
	どのくらい (具体的 数値で)	①選手権開催(2日間) ②有料落語会開催(1日間) ③冊子配布(年1回)			
令和元年度 (実施内容)	第17回全日本学生落語選手権「策伝大賞」の開催(2月22日、23日)、有料落語会の開催(2月24日)、「落語の祖 岐阜の策伝さん」配布(1,957冊)、小学6年生対象落語出前講座(54人)(11月8日)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	4,121	130	4,121	130	4,420	130
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	4,121	130	4,121	130	4,420	130

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		12,992	12,962	12,677
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	12,992	12,962	12,677
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,992	12,962	12,677

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	17,113	17,083	17,097

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	17,113	17,083	17,097

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者
受益者数	2,462	2,451	2,060
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,951	6,970	8,300

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	策伝大賞予選会の出場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	244	228	211
実績値	244	217	205

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	策伝大賞予選会、決勝大会の観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	2,176	2,223	1,849

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	アンケートの結果から、事業に対する感想として「良い」とされる意見が9割ほどあり、自由記述を見ても継続を望む市民は多く、ニーズに合っている。 イベント自体が市のPRIに直結しているとともに、事業の拠り所である安楽庵策伝の所縁は岐阜市にあり、市で行うべき。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	桂文枝師匠、立川志の輔師匠の知名度を考えると、本事業の予算内で実施できることは落語を通じた縁があってこそであり、費用対効果は高い。 落語愛好者や落語に理解のある団体、落語にゆかりのある市内団体と連携することで、効率的に事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	笑いと感動を切り口として続けられてきた事業として、着実に認知度は高まっている。令和元年度は、予選会、決勝大会の観覧者数が目標値より減少したが、決勝大会の観覧希望者数は観覧当選数の2.5倍と依然高く、今回の観覧者数の減少はコロナウイルス感染症拡大に起因するものと考えられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	策伝大賞の学生エントリー、観覧希望者、各イベントの周知は制限なく広く実施されており、有料落語会は実行委員会で適正な観覧料を徴収している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	令和元年度のアンケートの結果からも事業の継続を望む声が多く、全国から本市に集う学生に、本市の魅力をPRすることができる貴重な事業であるため、継続実施していくべき。

事業評価シート

番号 0660020 - 007

【1.基本情報】

事業名	岐阜祭補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜祭実行委員会
実施期間	昭和50 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	市民の氏神、伊奈波神社・金神社をはじめとする市内一円の例祭で、祭りに伴う行事としてみこし、山車の巡行等様々な事業が行われるものに対して補助する。				
事業の対象	何を	岐阜祭に対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜祭実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率6.6%(R1) 補助額500,000円			
令和元年度 (実施内容)	岐阜祭の支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		450	500	500
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	450	500	500
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		450	500	500

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	482	532	534

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	482	532	534

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	山車・みこし	山車・みこし	山車・みこし
受益者数	12	12	12
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	40,142	44,308	44,500

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	450	500	500
実績値	450	500	500

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	山車・みこし数	単位	台
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	12	12	12
実績値	12	12	12

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民の氏神、伊奈波神社・金神社をはじめとする市内一円の例祭で、県内外から多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。 本事業の協賛として道三まつりも開催されるなど、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の6.6%程度であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜市の重要な観光資源の一つであり、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜祭は春の訪れを告げる伝統的な祭りで、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして岐阜市の観光振興及び地域の活性化に大きく寄与している。補助率も6.6%と費用対効果も高く事業効果が得られているため、補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 - 008

【1.基本情報】

事業名	池ノ上裸まつり補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	池ノ上裸まつり実行委員会
実施期間	昭和62 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	室町時代に端を発すると言われる伝統行事。毎年12月第2土曜日に長良川畔で行われる伝統的な民俗行事に対して補助する。				
事業の対象	何を	池ノ上裸まつりに対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	池ノ上裸まつり実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率9.8%(R1) 補助額90,000円			
令和元年度 (実施内容)	池ノ上裸まつりの支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		90	90	90
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	90	90	90
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		90	90	90

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	122	122	124

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	122	122	124

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	5,100	3,000	3,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	24	41	41

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90	90	90
実績値	90	90	90

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	5,000	5,000	5,000
実績値	5,100	3,000	3,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	室町時代から続いている伝統行事であり、池ノ上地区に残る民俗行事を後世に伝えるため、本事業は必要である。 地区の民俗行事であるが、市外からの見物客もおり、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の9.8%程度であり、冬季に行われる数少ない観光資源の一つとして観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	池ノ上地区に残る伝統的な文化を後世に伝えるための行事であるが、毎年一定の観光客が訪れており、本事業は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	池ノ上地区に古くから伝わる奇祭で、冬季に行われる数少ない観光資源の一つとして多くの方に知られている行事である。岐阜市の観光振興及び地域の活性化に寄与しており、補助率の観点からも補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 - 009

【1.基本情報】

事業名	手力の火祭補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	手力の火祭実行委員会
実施期間	昭和61 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市の観光資源の宣伝、保護。				
事業の内容	岐阜市の代表的な祭りの一つで、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事である事業に対して補助する。				
事業の対象	何を	手力火祭に対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市手力火祭実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率 19.8%、補助額 900,000円			
令和元年度 (実施内容)	手力の火祭の支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	63	2	63	2	68	2
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	63	2	63	2	68	2

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		900	900	900
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	900	900	900
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		900	900	900

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	963	963	968

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	963	963	968

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	手力の火祭の観覧者	手力の火祭の観覧者	手力の火祭の観覧者
受益者数	30,000	30,000	30,000
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	32	32	32

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	手力の火祭の観覧者	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	900	900	900
実績値	900	900	900

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	手力の火祭の観覧者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	30,000	30,000	30,000
実績値	30,000	30,000	30,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市外からも多くの観覧客が訪れる認知度の高いイベントである。また県の重要無形民俗文化財に指定されており、伝統文化の保存という面からも事業の必要性は高い。 市を代表するイベントとして観光客誘致の効果も高く、市として関わる必要は高い。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地元負担が約8割、岐阜市負担が2割で運営されており、費用対効果は高い。 地域と市が連携して祭に取り組んでおり、現在の運営形態が最も効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	毎年約3万人の観光客が訪れ、伝統的な文化を後世に伝え、観光の地域資源の活性化として本事業は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市民が受益対象者であり公平である。また、祭のような地域で取り組む事業では受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	観光客誘致、伝統文化保存の面からも必要性が高く、市の負担は約2割程度と費用対効果も高い。そうしたなか市内外から3万人規模の観光客が訪れる本事業は有効性も高く継続が妥当である。市公式SNSほか広告媒体へ更に露出等を増やし、観光客の誘致を図る。

事業評価シート

番号 0660020 - 010

【1.基本情報】

事業名	ぎふ梅まつり補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	ぎふ梅まつり実行委員会
実施期間	昭和62 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	岐阜市随一の規模、種類を誇る梅林公園を中心に地域住民によって実施される手作りのイベントに対して補助する。				
事業の対象	何を	ぎふ梅まつりに対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	ぎふ梅まつり実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率21.7%(R1) 補助額90,000円			
令和元年度 (実施内容)	ぎふ梅まつりの支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		90	90	90
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	90	90	90
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		90	90	90

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	122	122	124

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	122	122	124

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	90,000	60,000	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	2	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90	90	90
実績値	90	90	90

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	70,000	70,000	70,000
実績値	90,000	60,000	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域住民だけではなく、県内外から花見を楽しむ多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。 地区の祭であるが、市外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の21.7%程度と高いが、令和元年度は中止となりそれまでにかかった経費への補助であり、例年は10%程度に抑えられている。例年、市外・県外から多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	梅林公園周辺の住民によって実施されるイベントで、梅花の種類・本数ともに岐阜市随一の規模を誇る。例年多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして岐阜市の観光振興及び地域の活性化に大きく寄与している。補助率も中止となった本年度を除いては例年10%程度と費用対効果も高く事業効果が得られているため、補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 011

【1.基本情報】

事業名	長良川まつり補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	長良川まつり実行委員会
実施期間	昭和58 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	長良川の伝統的で重要な行事である長良川まつり(提灯船の出船など)の事業に対して補助する。				
事業の対象	何を	長良川まつりに対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	長良川まつり実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率31.6%(R1) 補助額250,000円			
令和元年度 (実施内容)	長良川まつりの支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		250	250	250
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	250	250	250
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		250	250	250

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	282	282	284

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	282	282	284

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	4,000	3,000	2,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	70	94	142

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	250	250	250
実績値	250	250	250

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	4,000	3,000	2,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	長良橋周辺において古くから長良川の川開き行事として親しまれており、鵜飼屋地区に残る伝統行事を後世に伝えるため、本事業は必要である。 地域の祭であるが、多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の31.6%程度と高いが、例年多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	鵜飼屋地区に残る伝統的な文化を後世に伝えるための行事であるが、毎年一定の観光客が訪れており、本事業は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	長良橋周辺において古くから長良川の川開き行事として親しまれており、提灯船は、長良川の夏の風物詩として多くの方に知られている。岐阜市の地域の活性化に寄与しており、長良川の伝統的で重要な行事であるため、実施に向けた支援を継続していく。

事業評価シート

番号 0660020 _ 012

【1.基本情報】

事業名	全国選抜長良川中日花火大会補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	株式会社中日新聞社
実施期間	昭和52 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	長良川河川敷を会場に開催される、全国有数の花火大会に対して補助する。				
事業の対象	何を	長良川で開催される花火大会に対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	株式会社中日新聞社			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率1.3%(R1) 補助額1,350,000円			
令和元年度 (実施内容)	全国選抜長良川中日花火大会(8月17日)の支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,350	1,350	1,350
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	1,350	1,350	1,350
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,350	1,350	1,350

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,382	1,382	1,384

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,382	1,382	1,384

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	350,000	350,000	350,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	4	4

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,350	1,350	1,350
実績値	1,350	1,350	1,350

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	千人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	250	250	250
実績値	350	350	350

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国有数の規模を誇る花火大会で、県内外から多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。 県内外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の1.3%程度であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、全国へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	全国有数の規模を誇る花火大会で、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして岐阜市の観光振興に大きく寄与している。補助率も1.3%と費用対効果も高く事業効果が得られているが、今後の開催が未定のため補助のあり方について検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 _ 013

【1.基本情報】

事業名	全国花火大会補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	株式会社岐阜新聞社
実施期間	昭和52 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	長良川河川敷を会場に開催される、全国有数の花火大会に対して補助する。				
事業の対象	何を	長良川で開催される花火大会に対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	株式会社岐阜新聞社			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助率2.6%(R1) 補助額2,250,000円			
令和元年度 (実施内容)	全国花火大会(8月3日)の支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,250	2,250	2,250
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	2,250	2,250	2,250
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,250	2,250	2,250

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,282	2,282	2,284

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,282	2,282	2,284

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	350,000	350,000	350,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7	7	7

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2,250	2,250	2,250
実績値	2,250	2,250	2,250

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	千人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	250	250	250
実績値	350	350	350

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国有数の規模を誇る花火大会で、県内外から多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。 県内外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の2.6%程度であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、全国へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	全国有数の規模を誇る花火大会で、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして岐阜市の観光振興に大きく寄与している。補助率も2.6%と費用対効果も高く事業効果が得られているが、今後の開催が未定のため、補助のあり方について検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 014

【1.基本情報】

事業名	観光タクシー運営補助金		
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード 3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金 実施主体 岐阜市周辺観光タクシー運営協議会
実施期間	平成9 年度～	年度	根拠法令 関連計画※ 岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜を訪れる観光客が効率よく岐阜市内及び近郊を観光できるようにする。観光客の立場に立って、心のこもったサービスができる観光タクシー事業の充実を図り、観光のイメージアップに寄与する事業を支援する。		
事業の内容	観光講習会及び研修会の実施に対する補助、運営協議会事務運営に対する補助		
事業の対象	何を	正確な観光案内をするための講習会、研修会などに対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市周辺観光タクシー運営協議会	
	どのくらい (具体的な数値で)	補助率29.3%(R1) 補助額600,000円	
令和元年度 (実施内容)	観光講習会及び研修会の実施に対する補助、運営協議会事務運営に対する補助		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,902	60	159	5	170	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,902	60	159	5	170	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		600	600	600
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	600	600	600
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		600	600	600

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,502	759	770

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,502	759	770

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員
受益者数	184	155	141
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,598	4,894	5,461

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	600	600	600
実績値	600	600	600

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ガイド乗務員の人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	350	350	350
実績値	191	184	155

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	ホスピタリティの高いタクシー乗務員を育成し、岐阜を訪れる観光客が効率よく岐阜市内及び近郊を観光できるようにするもので、社会のニーズに合っている。 岐阜市とその近郊を周遊するものであり、岐阜県やその他周辺市町村と広域で事業を担うことができないか検討する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助率は全体の事業費の29.3%程度である。ガイドタクシーのコース数や行き先のリニューアルにより利用実績が増加傾向にあり、市外・県外から多くの観光客を集めている。 岐阜市とその近郊を周遊するものであり、岐阜県やその他周辺市町村と広域で対応ができないか検討する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	低	研修を受講したものの、実際の乗務に活かしきれていない乗務員もおり、一部のベテラン乗務員に頼る状況にある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光客の利便性向上のため、二次交通としてタクシーの利用環境の整備は必要不可欠である。そのため本事業の受益者としてタクシー乗務員が適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	FIT化により個人の旅行者が増加する中、今後需要の増加が見込まれるため、ガイドタクシーの周知啓発の強化など効果的な運用が求められる。

事業評価シート

番号 0660020 015

【1.基本情報】

事業名	国際観光振興機構負担金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	独立行政法人 国際観光振興機構
実施期間	平成2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	国際会議観光都市同士の連携による国際コンベンション及び海外観光客の誘致				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 海外マスメディアを活用した記者招聘等PR活動 MICEセミナーの開催 海外におけるセールス活動 				
事業の対象	何を	本市を含む国内観光情報及びコンベンション関連情報			
	誰に (対象者・対象者数)	外国人観光客、旅行会社など			
	どのくらい (具体的 数値で)	訪日プロモーションにかかる商談会2万件以上、国際会議誘致にかかる商談会1700件以上 など			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議キーパーソン招請・視察 MICEセミナーの開催 海外におけるセールス活動 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		300	300	300
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	300	300	300
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		300	300	300

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	332	332	334

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	332	332	334

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	国際観光振興機構負担金	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300	300	300
実績値	300	300	300

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市が参加した観光展及び商談会	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	3

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、訪日外国人観光客の増加を目標に掲げる中、本市においても、外国人観光客誘致は重要である。 市単独では実施できない観光展や商談会に参加できるなど、会員となるメリットは大きく、同機構への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展や商談会に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 団体は外国人旅行者の誘致活動を行なう唯一の政府機関であり、代替できる組織はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	同機構が主催する海外観光展への参加や、国内商談会などに参加し、効果的な誘客活動につながった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同機構への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 016

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか観光推進事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成19年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市を訪れた観光客に対して、おもてなしの心を持って接することで観光客の満足度を上げ、岐阜市のイメージアップにつなげると共にリピーターを確保する。	
事業の内容	岐阜市まちなか案内人の会の活動の充実と更なる組織強化を支援し、岐阜公園周辺・川原町界限などで観光案内拡充を図るとともに、案内体制の整備・強化とホスピタリティの向上を目指す。	
事業の対象	何を	岐阜公園周辺及び川原町界限を中心とした観光案内
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市を訪れた観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	毎日
令和元年度 (実施内容)	岐阜市まちなか案内人研修会の実施(年1回)→コロナウイルス感染拡大防止により中止 岐阜市まちなか案内人で行く「金華山歴史探訪登山」・「岐阜町歴史探訪町歩き」の開催(年8回) →うち1回はコロナウイルス感染拡大防止により中止	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,585	50	1,585	50	1,700	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,585	50	1,700	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		278	105	5
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	報償費	0	56	0
	消耗品費	25	43	5
	印刷製本費	249	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		278	105	5

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,863	1,690	1,705

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,863	1,690	1,705

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	観光客	観光客	観光客
受益者数	2,140	1,029	1,200
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	871	1,642	1,421

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜市まちなか案内人の会員数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	50	50	50
実績値	53	46	54

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	案内件数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	150	100	100
実績値	166	101	125

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	観光ガイドに関する問い合わせは多くあり、観光客の満足度向上のためにも本事業は必要である。 岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、岐阜市内の観光案内を行う観光振興に寄与する団体であるため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で会の支援を行っている中で、「歴史探訪登山」や「歴史探訪まち歩き」は定員を超える申し込みがあることから、費用対効果は高い。 岐阜市まちなか博士認定試験に合格した方が観光ボランティアガイドとして会を結成していることから、まちなか博士育成事業とも効率的な連携がとれている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	本事業の実施により、岐阜市まちなか博士認定試験の合格者に活動の場を提供するとともに、より高度に本市の魅力を説明できる人材が育成され、本市の観光振興に大いに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての観光客が受益対象者になりえるため公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	観光ボランティアガイドとして一定数の需要があり、平成26年度からはボランティア団体として独立しているため、会の活動支援の方法について、他団体との関係も含めて検討が必要。

事業評価シート

番号 0660020 017

【1.基本情報】

事業名	長良川国際会議場運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	トリニティぎふ	
実施期間	平成7年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市長良川国際会議場条例	

【2.事業概要】

事業の目的	国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。	
事業の内容	長良川国際会議場の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設及び設備等の保守管理、自主事業の実施。	
事業の対象	何を	長良川国際会議場の施設等
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者
	どのくらい (具体的 数値で)	320,000人
令和元年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。 岐阜観光コンベンション協会との相互協力などによるイベント・コンベンションを誘致するとともに、産業、学術及び文化の向上を図るため、自主(共催)事業を実施した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,522	48	1,522	48	1,632	48
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,522	48	1,522	48	1,632	48

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		237,831	244,864	242,008
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	133,704	132,108	129,225
	工事請負費	97,568	105,288	104,145
	備品購入費	5,571	4,896	4,606
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		288,810	288,810	288,810
計(D)=B+C		526,641	533,674	530,818

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	528,163	535,196	532,450

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	312	336	25
その他	1,094	1,411	1,571
計(F)	1,406	1,747	1,596

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	526,757	533,449	530,854

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	257,468	274,536	250,716
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,046	1,943	2,117

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	359	359	359
実績値	359	359	359

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	千人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	320	320	320
実績値	257	274	250

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	MICEの推進は市としても重要であり、その中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	管理経費(事業費)には多額の費用を要するものの、高い利用者満足度から費用対効果はあると考える。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	2月下旬以降はコロナウイルス感染症拡大の影響で、貸室利用のキャンセルが相次いだが、それ以前の施設料金稼働率は約50%を維持しており、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	施設の設置目的を果たし、多くの利用者に高い満足度のもと利用されている。施設老朽化に係る課題があるため、指定管理者とともに長寿命化を念頭においた維持管理に努める。

事業評価シート

番号 0660020 - 018

【1.基本情報】

事業名	道の駅柳津交流センター運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	有限会社アミカル柳津	
実施期間	平成16年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市道の駅柳津交流センター条例	

【2.事業概要】

事業の目的	一般道の利用者等に対し、良好な休憩場を提供すると共に、地場製品の販売等を通して商業を始めとする産業の活性化を図るため、施設を供与する。				
事業の内容	道の駅柳津交流センターの運営(利用受付、物販館等の貸出、利用料金の徴収など)、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理。				
事業の対象	何を	道の駅柳津交流センターの施設等			
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	65,000人			
令和元年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	761	24	761	24	816	24
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	761	24	761	24	816	24

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料(指定管理料)	10,812	10,812	10,913
	負担金	80	80	80
	修繕料	0	0	556
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		3,484	3,484	3,484
計(D)=B+C		15,207	14,376	15,195

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,968	15,137	16,011

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	1	1	1
計(F)	1	1	1

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,967	15,136	16,010

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	70,209	65,395	63,836
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	227	231	251

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	310	310	308
実績値	310	310	308

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	65,000	65,000	65,000
実績値	70,209	65,395	63,836

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	主要道路の休息地点となっており、地域住民の交流の場となっている他、地元農産物の販売を通して、地域産業の活性化に寄与している。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	2月下旬以降はコロナウイルス感染症拡大の影響で利用者数が減少したが、施設の利用者数は目標値に近く、費用対効果はあると考えられる。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	2月下旬以降はコロナウイルス感染症拡大の影響で利用者数が減少したが、施設の利用者数は目標値に近く、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	物販館、農産物を販売するスペースは公に開かれており、施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	道の駅の本来としての役割のほか、地域農産物販売等で地域産業の活性化に寄与している。

事業評価シート

番号 0660020 _ 019

【1.基本情報】

事業名	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会
実施期間	平成16年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市、下呂市、郡上市の三市が共同して観光客の誘致及び宣伝を行い、お互いの相乗効果を図るとともに、パブリシティの効用を一層高めること				
事業の内容	三市への観光客誘致宣伝活動。				
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客となりうる全ての人々(外国を含む)			
	どのくらい (具体的 数値で)	メディア招請2回、国外メディアにおける広告出稿など			
令和元年度 (実施内容)	①香港メディア招請事業、②タイメディア招請事業、③NEXCO中日本と連携した広告掲載事業				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,000	2,000	2,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	2,000	2,000	2,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		2,000	2,000	2,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,170	5,170	5,400

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,170	5,170	5,400

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	香港市場における広告発信回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10	10	10
実績値	6	12	9

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	香港からの宿泊者数(長良川温泉)	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	6,724	6,740	5,786

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	政府は2020年に訪日外国人旅行者の4,000万人の達成を目指すとしており、本市でも広域連携を組み合わせながら、外国人旅行者の誘致や交流人口の拡大に努める必要がある。 岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市・下呂市・郡上市の3市で協議会を設立し、共同して観光客の誘致及び宣伝を展開しており、岐阜市としても事業を担うに必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独ではできない事業を3市でそれぞれ負担し、県や国からの補助金を得て実施しているため、費用対効果は高い。 三市で協議会を設立し、共同でPRを行っているが、民間事業者と連携していく検討も必要。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	効果的な誘客を図るためには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、受益者負担の面では公平であるが、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	国内市場向けの誘致宣伝事業や海外向けの誘客事業を通し宿泊客数等は増加しており、費用対効果は高い。今後、効果的なPR方法を検討し、3市の認知度をさらに上げていく必要がある。また、負担金額についても検討の必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 020

【1.基本情報】

事業名	信長公居城連携協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	信長公居城連携協議会
実施期間	平成22 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	戦国武将「織田信長公」が城を構えた地である岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市の四市が連携し、「織田信長公」の歩みを現代において体感できる広域観光の路を確立し、信長公の居城をキーワードとした共同PRなどを行うことで観光客を誘致し、各市の観光振興を図ること				
事業の内容	本市への観光客誘致宣伝活動				
事業の対象	何を	岐阜市をはじめとする四市の観光資源			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客となりうるすべての人々			
	どのくらい (具体的 数値で)	スタンプラリーの実施 9か月間 など			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・信長夢街道スタンプラリー 4月27日～1月26日 実施 ・共同パンフレット、ホームページによる情報発信 ・ポスター作製 ・お城EXPOへの共同出展 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		400	400	400
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	400	400	400
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		400	400	400

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,570	3,570	3,800

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,570	3,570	3,800

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	スタンプラリー参加者		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	400	400	400
実績値	381	376	361

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	112,913	62,207	60,019

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	歴史的な共通テーマを持った誘客事業は、昨今、観光客の関心も高く、効果的な誘客を図るのに必要である。 450プロジェクト後の岐阜市を「信長公命名のまち岐阜市」としてブランド発信していくうえで、居城連携の枠組みは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	総事業費がそれほど大きくないため、少ない予算でいかに大きな効果を生むことができるかが課題。また、岐阜市(40万円)と他3市(20万円)とで負担金額が異なる点も検討が必要 居城というテーマに合った関係4市が広域連携を組み、効率的な事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜市単独の誘客活動では得られなかった、広域的な誘客を図ることができた。また「お城EXPO2019」に共同出展を行い、お城ファンの方々にターゲットを絞った効果的なPRを行うことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	4市を訪れた観光客は、入場料など、それぞれの施設で受益者負担を担っている。一方で、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	テーマ性を持った広域連携による誘客施策は効果的であり、事業は継続すべきだが、マンネリ化によるスタンプラリー参加者の減少、情報発信の方法など、事業のブラッシュアップと認知度向上を図る工夫が必要。また、各市の負担金額の検討も必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 021

【1.基本情報】

事業名	日本観光振興協会負担金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	社団法人 日本観光振興協会
実施期間	平成元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	本市における国内外の観光客の増加促進				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国広域観光振興事業（観光地域づくり基盤形成事業、広域観光促進事業など） ・観光人材育成事業（観光セミナーの開催、研修会等の開催） ・観光交流活性化事業（地域インバウンド推進事業など） 				
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に (対象者・対象者数)	国内外の観光客			
	どのくらい (具体的数値で)	人材育成研修支援 5メニュー、観光展開催2件 など			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光振興事業 ・観光人材育成事業 ・観光交流活性化事業 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		384	270	270
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	384	270	270
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		384	270	270

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	416	302	304

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	416	302	304

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	国際観光振興機構負担金	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	384	270	270
実績値	384	270	270

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市が参加した観光展及び商談会	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1	4	4
実績値	3	4	4

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、観光先進国に向けて事業展開する中、本市においても、国と連携した観光誘客施策は重要である。 市単独では実施できない観光展に参加できるなど、会員となるメリットは大きく、同協会への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 同協会は、我が国の観光振興に関する中枢機関として活動している公益社団法人であり、代替の方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	同協会が主催する観光展への参加や、フォーラムなどに参加し、効果的な誘客活動、情報収集ができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同協会の観光展やフォーラムに参加することで、幅広い誘客活動につながった。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同協会への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 022

【1.基本情報】

事業名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	東海地区外国人観光客誘致促進協議会
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	外国人観光客の誘致				
事業の内容	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び名古屋、静岡市、浜松市及び観光関係団体などが連携し、東海地区への外国人観光客の誘致を目指し、海外プロモーション、海外エージェント、プレス招聘事業などを行っている。岐阜市は岐阜県部会の会員として、岐阜県、県内市町村、観光関係団体などと連携を図り、各種事業を行っている。				
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に (対象者・対象者数)	外国人観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	海外向けプロモーション(台湾、シンガポール、タイ、フィリピンほか) など			
令和元年度 (実施内容)	・海外プロモーション事業…令和2年1月16日(木)～19日(日)、タイでの現地プロモーションに参加 ・広報事業…インバウンド着地型観光セミナーの開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		200	200	200
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	200	200	200
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		200	200	200

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	232	232	234

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	232	232	234

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	200	200	200
実績値	200	200	200

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	海外プロモーション実施数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6	11	6
実績値	6	11	6

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	訪日観光客数の増加が今後も見込まれるなか、県、市町村等の連携による海外からの誘客事業はスケールメリットの面や情報共有の面からも重要である。 県が中心となり各市町村が主体となって行うべき事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独では実施できない事業を県及び参加団体の負担で行うため、費用対効果は高い。 現状として県が中心となり実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市単独で海外からの誘客を図るには限界があり、広域連携での誘客は必要不可欠である。また、海外からの誘客は、官民が協働で誘客する必要がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	海外からのFITが増加傾向の中で、岐阜市単独で海外市場に対し誘客を図ることは難しいため、協議会による広域連携を活かしたPRは必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 023

【1.基本情報】

事業名	岐阜県観光連盟負担金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	一般社団法人岐阜県観光連盟
実施期間	平成元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	本市における観光客の誘致				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光商品販売促進事業(海外誘客プロモーション事業、インターネット販売促進事業など) 飛騨・美濃じまん観光キャンペーン強化事業(教育旅行誘致事業など) 				
事業の対象	何を	本市を含む国内観光情報			
	誰に (対象者・対象者数)	国内外の観光客、旅行会社など			
	どのくらい (具体的 数値で)	国内商談会を4回開催、国内観光物産展を10回開催、ホームページ「ぎふの旅ガイド」の運営 など			
令和元年度 (実施内容)	岐阜県観光連盟の事業 ・会員支援事業 ・観光商品販売促進事業				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	159	5	159	5	170	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	159	5	159	5	170	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		423	423	423
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	423	423	423
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		423	423	423

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	582	582	593

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	582	582	593

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数
受益者数	645,803	594,179	724,582
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	1	1

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	負担金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	423	423	423
実績値	423	423	423

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	700,000	650,000	700,000
実績値	645,803	594,179	724,582

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	観光情報源が多様化する中、同連盟が運営するホームページ「ぎふの旅ガイド」は個人・団体等様々なユーザーに活用されており、本市への誘客促進を図る上で重要である。 市単独で誘客を図るには限界があり、会員になることで広域的な連携を深めた誘客促進を行うことができる。そのため同連盟への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加したり、広域連携したホームページの運営など、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 同連盟は、県内の観光振興に関する中枢機関として活動している一般社団法人であり、代替できる組織はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	同連盟が主催する観光展への参加や、広域連携したホームページの運営に協力することにより、効果的に誘客促進をすることができ、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同連盟の観光展への参加や、広域連携したホームページの運営に協力することにより、幅広く誘客促進をすることができた。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	国内外から誘客促進するうえで、広域的な連携を深めることは重要であり、今後も同連盟への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 024

【1.基本情報】

事業名	JR岐阜駅構内岐阜市観光案内所運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会	
実施期間	平成9 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	観光案内所利用者に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供し、案内業務を行うことでホスピタリティの向上を図るとともに、本市の魅力をわかり易く伝え、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加を目指す。	
事業の内容	観光客をはじめとする本市へお越しになられた方々に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供する案内業務を行うほか、観光案内所の運営管理を行う。	
事業の対象	何を	観光情報をはじめとする本市の情報
	誰に (対象者・対象者数)	観光案内所利用者 約4万人
	どのくらい (具体的 数値で)	年中無休 8:30～19:30
令和元年度 (実施内容)	①案内業務 ②観光案内所の運営管理	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,268	40	1,268	40	1,360	40
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,268	40	1,268	40	1,360	40

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		11,786	11,793	12,396
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	11,786	11,793	12,396
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		11,786	11,793	12,396

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	13,054	13,061	13,756

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	13,054	13,061	13,756

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	観光案内所利用者	観光案内所利用者	観光案内所利用者
受益者数	41,984	59,171	55,483
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	311	221	248

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	観光案内所開庁日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	365	365	365
実績値	365	365	365

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観光案内所利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	40,000	40,000	40,000
実績値	41,984	59,171	55,483

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供しホスピタリティ向上を図ることで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながっている。 本市の観光情報発信拠点の設置に関しては市が担うべき
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	平成30年度実績で6万人弱が利用しており、効率的な運営をすることができた。 観光情報や案内業務のノウハウを持つ観光コンベンション協会に委託する方法が最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	年々、利用者数は増加しており、多くの方々に観光情報を提供することができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光案内業務の性質上、受益者負担は適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	案内所利用者に対し、効果的な観光情報を提供することで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながると思われ、今後も事業継続の必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 025

【1.基本情報】

事業名	やないづ境川ふれあい夏祭り負担金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	その他負担金	実施主体	やないづ境川ふれあい夏祭り実行委員会
実施期間	平成14年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	市民をはじめ、本市を訪れる多くの県内外の人々にゆとりと潤い、そして安らぎを与えている自然いっぱいの境川緑道公園一帯を会場に、多くの人々がともにふれあい、交流を深め地域の連帯感を醸成し、活力とにぎわいあふれる地域づくりに寄与し、地域振興を図るイベントとして、柳津地域のみならず市南部最大のイベントとして位置付けるとともに岐阜圏域の最後の花火大会を飾るにふさわしいイベントとして開催する。				
事業の内容	境川緑道公園での花火大会の開催。郷土芸能「天保宮下太鼓」「うずら太鼓」「高桑太鼓」の披露等				
事業の対象	何を	やないづ境川ふれあい夏祭りの開催			
	誰に (対象者・対象者数)	やないづ境川ふれあい夏祭り実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	年1回			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・やないづ境川ふれあい夏祭り実行委員会に所属し、運営を実施 ・負担金の支出。 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,000	6,000	6,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	6,000	6,000	6,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,000	6,000	6,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,032	6,032	6,034

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,032	6,032	6,034

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	20,000	20,000	20,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	302	302	302

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	やないづ境川ふれあい夏祭りの開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	20,000	20,000	20,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、毎年約20000人程の観光客が来場するため、社会のニーズに合っている。 主体的な運営は実行委員会が行っているため、市としては人的支援は抑え負担金を拠出するべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約20000人の来場者があることは、市南部地域において一定の経済効果があるといえる。 市民協働により地域の活性化に寄与する事業であり、市が財政支援を行うことは効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、市民だけでなく市外・県外から例年一定の観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	一般の観覧、来場が可能であり、全ての市民が受益対象者となるため公平性・公益性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善 (統合・縮小含む)	夏季における市南部地域の主要イベントであるため、負担金は継続して拠出し、周知啓発においては可能な限り実施すべきである。しかし、受益者ひとり当たりのコストが高く、他のイベントとのバランスを考慮し、金額の見直しが必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 026

【1.基本情報】

事業名	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶯飼伝承館)運営管理		
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード 7 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体 JNFうかいミュージアム
実施期間	平成24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※ 岐阜市長良川鶯飼伝承館条例

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市を代表する伝統文化である“長良川の鶯飼”を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信するため、施設を供与する。		
事業の内容	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶯飼伝承館)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、「長良川鶯飼文化」の発信、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、指定事業および自主事業の実施。		
事業の対象	何を	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶯飼伝承館)の施設等	
	誰に(対象者・対象者数)	観光客、市民などの施設利用者	
	どのくらい(具体的数値で)	61,500人(令和元年度)	
令和元年度(実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。「長良川鶯飼文化」を広く紹介・発信する取組みとして指定事業及び自主事業を実施。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,043	96	3,043	96	3,264	96
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,043	96	3,043	96	3,264	96

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		95,670	96,153	124,157
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	93,458	92,909	92,856
	工事請負費	1,510	0	546
	備品購入費	0	0	335
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		19,728	19,728	19,728
計(D)=B+C		115,398	115,881	143,885

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	118,441	118,924	147,149

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	21	21	21
その他	2,305	2,225	2,252
計(F)	2,326	2,246	2,273

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	116,115	116,678	144,876

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	157,056	130,989	128,643
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	739	891	1,126

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	332	332	331
実績値	332	332	331

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来館者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	51,700	57,200	61,500
実績値	45,541	44,337	40,981

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	岐阜市の重要な観光資源である鶺鴒の文化を広く紹介・発信し、護り、その魅力を伝えることができる唯一の施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	展示室への来館者数が伸びておらず、費用対効果が低い。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	魅力的な企画事業を実施し、地域振興という意味では効果が得られているものの、展示室への入館には結びついておらず、鶺鴒の文化の発信という意味でさらなる工夫が必要。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	魅力的な企画事業の実施により施設への来場者は確保できているものの、展示室への来館者は増加していない。鶺鴒の文化をより魅力的に発信できるよう、指定管理者と連携した維持管理に努める。

事業評価シート

番号 0660020 - 027

【1.基本情報】

事業名	富山市との観光物産交流事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	岐阜市・富山市観光物産交流推進協議会
実施期間	平成20年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	当事業は、平成19年12月26日に富山市と締結した「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて実施するもので、両市の連携・交流を一層充実させ、圏域を越えた新しい時代の都市間交流を行いながら広域交流の推進、広域連携の推進を図っていく。				
事業の内容	岐阜市、富山市が合同で観光物産展事業、交流人口拡大事業等を実施する。				
事業の対象	何を	岐阜市、富山市合同の観光物産展及び誘客推進事業			
	誰に (対象者・対象者数)	市民、企業等			
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜市・富山市相互の観光物産展をそれぞれ2回ずつ開催。鶺鴒や遊覧船など各種料金割引事業の実施。両市合同の首都圏観光物産展を1回開催。			
令和元年度 (実施内容)	観光物産展の開催、交流人口拡大事業、両市合同事業(首都圏での観光PR)を実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,064	1,265	1,144
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	2,064	1,265	1,144
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		2,064	1,265	1,144

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,234	4,435	4,544

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,234	4,435	4,544

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市・富山市	岐阜市・富山市	岐阜市・富山市
受益者数	63	21	37
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	83,079	211,190	122,811

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	物産展、割引利用の実施件数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	30	30	30
実績値	66	24	42

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市観光HP(岐阜市漫遊)アクセス数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	100,000	100,000	100,000
実績値	112,913	62,207	60,019

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	両市のPRと相互交流の推進を図っていくためには今後も必要な事業であると考えている。 協議会事業として、民間の協力も得ながら各種事業を実施している。観光物産展開催等に伴い、各種手続きが必要であるため、事務に関しては市が取りまとめる必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	交流人口拡大事業として、富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業を実施しているが、利用者があまり多くない。観光展は、比較的多くの方がブースを訪れてきている。 両市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得ながら進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	両市で、イベント等に合わせて観光物産展を開催しているほか、首都圏でも合同で実施しており、好評を得ている。交流人口拡大事業は、まだ利用者が少ないため、効果的なPRが必要。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業、岐阜市民を対象に富山市内乗り物利用料割引と富山市内宿泊施設割引事業を実施しており、両市の交流人口拡大を促進している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	毎年、負担金の市への戻入が多く発生し、内容もマンネリ化してきているため、より効果的な事業を実施していくべきと考える。 ただし、令和元年度より職員同士の人事交流も復活したため、より事業が活発化することが期待できる。また、鵜飼乗船割引に加え、岐阜市観光施設割引も開始されたため、今後の動向を注視する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 028

【1.基本情報】

事業名	レンタサイクル事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	岐阜市 (一財)岐阜市にぎわいまち公社	
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市レンタサイクル条例、施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的	中心市街地の近距離公共交通機関の一つとしてレンタサイクルを位置づけ、多くの観光客及び市民の利用に供する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が集まる公共施設にレンタサイクルポートを整備し、レンタサイクルを貸出す。 ・サイクリングコースを紹介した折り畳み式のマップを作成し、観光案内所などで配布する。 				
事業の対象	何を	レンタサイクル (レンタサイクルポート)			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及び市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR岐阜駅など6つのポートで、合計150台の自転車を貸出す。 ・14のホテル等で36台の自転車を無償で貸し出す。 			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・合計17,499件のレンタサイクルの利用があった。昨年より減少した理由は、10月からの料金改定によるものと思われる。 ・ホテル会などでは、合計3,819件の利用があった。 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	317	10	317	10	340	10
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	317	10	317	10	340	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		23,734	22,374	28,651
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	20,204	22,374	24,216
	新規自転車導入	2,945	0	1,862
	ポート整備	585	0	2,573
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		167	167	167
計(D)=B+C		23,901	22,541	28,818

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	24,218	22,858	29,158

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	2,096	2,138	3,279
その他	765	774	764
計(F)	2,861	2,912	4,043

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	21,357	19,946	25,115

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	レンタサイクルの利用者	レンタサイクルの利用者	レンタサイクルの利用者
受益者数	18,145	18,253	15,189
受益者負担額(千円)	2,096	2,138	3,279
受益者負担率(%)	8.7%	9.4%	11.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,177	1,093	1,653

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	レンタサイクル利用実績	単位	件数
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	20,000	21,000	18,000
実績値	20,574	20,893	17,499

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	JR岐阜駅から入る観光客の増加(観光案内所利用者数)	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	60,000	60,000	60,000
実績値	59,171	55,483	55,320

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本市の観光資源が駐車場の少ない市中心部に集積する中、自転車などの2次交通の整備は重要である。 民間事業者による事例はあるが、ホテルによる宿泊者限定利用や、店舗でのスポーツバイク貸出などその利用は付随的なサービスにとどまる。多くの観光客に利用してもらうための広域的な整備は市が行うべき。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	料金の値上げにより、委託料に対する収益率は約14%程度と、昨年度の10%よりやや改善した。 業務委託先に民間を活用することや、ポートの無人化・機械化など、今後収益性の向上に向けた施策を検討していく必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	利用件数は令和元年度は料金の値上げの影響もあり、減少した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	年数発生する利用料金未納者について公平性に課題が残る。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	令和元年10月から利用料金設定や貸し出し車種などの運用を改定を行った。半月が経過し、貸出件数は減少したが利用料金収入額は増加した。今後は利用件数や収益の動向を注視しながら、適正な管理台数規模や、レンタサイクルポートの無人化・自動化の可能性について検討する。

事業評価シート

番号 0660020 - 029

【1.基本情報】

事業名	長良川流域観光推進協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	長良川流域観光推進協議会
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源を観光資源として活用し、当該流域を周遊・滞在する観光地づくりを観光事業者・地域連携DMOと連携して推進することを目的とする。				
事業の内容	当該流域における周遊・滞在型観光造成事業、情報発信事業				
事業の対象	何を	当該流域における周遊・滞在型観光			
	誰に (対象者・対象者数)	市民、企業等			
	どのくらい (具体的 数値で)	通年利用ができる体験プログラムの他、交通機関と連動した観光企画を各時期において展開。			
令和元年度 (実施内容)	周遊滞在型商品造成事業、情報発信事業、観光マーケティング調査、豪雨災害等による入込客数減少対策事業				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	1,585	50	1,700	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	1,585	50	1,700	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,500	1,000	1,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	2,500	1,000	1,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,500	1,000	1,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,670	2,585	2,700

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	1,250	500	500
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	1,250	500	500

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	4,420	2,085	2,200

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	観光客(4市主要観光施設来場者数) ※暦年	観光客(4市主要観光施設来場者数) ※暦年	観光客(4市主要観光施設来場者数) ※暦年
受益者数	348,927	298,048	※県で集計中
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13	7	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	着地型商品数	単位	種類
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	30	30	30
実績値	77	82	86

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	長良川温泉宿泊者数	単位	千人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300	300	300
実績値	309	309	304

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	4市のスケールメリットを生かした誘客を図っていくためには、今後も必要な事業である。 協議会の事務局は県が担い、NPO法人ORGANや民間の協力も得ながら各種事業を実施している。岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	本市の新たな体験型観光商品の開発や、1市単独ではできない事業を国からの補助金を得て4市で実施しているため、費用対効果は高い。 4市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得られていることから、効率的に事業を進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	多様な観光商品の造が実施されており、効果的な誘客を図るためには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	ガイドマップ、WEBサイト等、広く市民に情報を発信しており、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	世界農業遺産など長良川流域のテーマ性を持った広域連携による誘客施策は効果的であり、事業効果が得られている。そのため、令和2年度以降も国からの交付金を受けて事業を継続していく。

事業評価シート

番号 0660020 - 030

【1.基本情報】

事業名	岐阜市観光ラッピングトラック事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	関東、東海、近畿、北陸圏域をはじめ日本全国を運行する中・遠距離トラックの荷台部分に、岐阜市の観光資源である「ぎふ長良川の鶺鴒」や「岐阜城」を題材にしたシートを貼り、トラックをラッピングして岐阜市の観光PRを図る。	
事業の内容	現シートの剥離 新シートデザインの作成、トラック荷台への貼付	
事業の対象	何を	岐阜市の観光資源
	誰に (対象者・対象者数)	全国の一般市民
	どのくらい (具体的 数値で)	ラッピングトラック3台を運行(12か月)
令和元年度 (実施内容)	シート貼付及び剥離業務委託(1,998,000円)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	476	15	510	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	476	15	510	15

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		0	2,096	1,998
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	0	2,096	1,998
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	2,096	1,998

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	32	2,572	2,508

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	32	2,572	2,508

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	高速道路利用者	高速道路利用者	高速道路利用者
受益者数	19,600,000	19,600,000	19,600,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ラッピングトラック運行台数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	3

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	宿泊者数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	250,000	250,000	250,000
実績値	259,455	252,845	236,540

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	トラックを提供している民間事業者から、配送先でトラックのデザインについて尋ねられることが多いとの声をいただいております、社会のニーズに合っている。 市のPR・観光客誘致に寄与するため、市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	トラックを活用することで広告面が移動し、多くの人に認知効果を与えることができ、コストパフォーマンスが優れていることから費用対効果は高いと言える。 トラックを無償で提供していただき、民間を活用することで経費を削減して事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市外へ向けて岐阜市のPRが行われており、事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全国の一般市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担はなく、事業内容が受益者負担を求めることに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	不特定多数へのPRツールとして、交通系の媒体を活用することは有効だが広告料が高額になってしまう。しかし本事業は、民間を活用することでトラックは無償提供されており、さらに貼替作業も荷台側面は5年、背面はほとんど劣化せずコストパフォーマンスが優れており、事業効果が得られている。

事業評価シート

番号 0660020 - 031

【1.基本情報】

事業名	観覧船の民間活用推進事業			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体 (公財)岐阜観光コンベンション協会
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	オフシーズンの観覧船の活用を民間事業者に促し、利用者増による観覧船事業の収支改善を目指す。	
事業の内容	観覧船を活用してイベント等の事業を実施した事業者に対して企画の立案、事業の宣伝等に対する助成を行なう。	
事業の対象	何を	イベント等の企画立案、宣伝等の経費
	誰に (対象者・対象者数)	民間事業者
	どのくらい (具体的 数値で)	集客奨励金@500円/一人、宣伝費補助200,000円
令和元年度 (実施内容)	4月から商談会等で助成制度を説明。8月から申請を受け付け、5社からの助成を受理した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		0	0	1,378
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	0	0	1,378
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	1,378

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	1,412

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	1,412

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者			観覧船を活用する民間事業者
受益者数			5
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			282,400

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助申請数		単位 件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			5
実績値			5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧船乗船者数		単位 人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			960
実績値			25

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	観覧船のオフシーズンの活用は長年の課題であり、解決の可能性を探ることができる施策である。 観覧船事業は市の事業であり、その活用は市が担う。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	乗船者の2次的な観光消費を考慮すると大きな経済波及効果が期待される。 岐阜観光コンベンション協会が持つネットワークを活用し、事業応募者を募る方法が効率的で適している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	低	今年度は新型コロナの影響で催行予定のツアーが中止になる案件が多発し、実績があげられなかった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	申請案件はツアー商品として受益者負担を徴しており、公平性は維持されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	今年度は新型コロナの影響で催行予定のツアーが中止になる案件が多発し、実績があげられなかった。今年度から始まった事業でもあり、しばらく継続し、事業効果を図る。